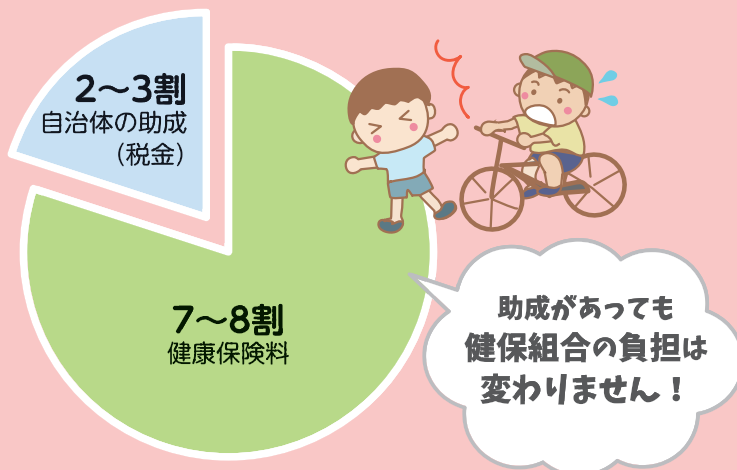
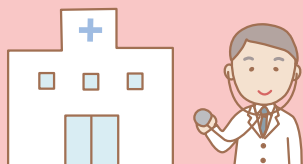


「子どもは無料」
は
間違い！

子ども医療費の仕組み

自治体の助成により自己負担額が軽減されることから「子どもの医療費は無料」と勘違いされがちです。しかし、医療費が無料なわけではなく、**健康保険料**や**税金**で賄うことで自己負担が少なくなっているのです。



「子どもの医療費」は 健保組合と市区町村で負担しています

医療費は、健康保険組合が8割（小学生以上は7割）を負担し、残りの2割（小学生以上は3割）は受診した皆さまの自己負担分となりますが、市区町村が補助を行っており、自己負担が抑えられています。多くの市区町村が都道府県の対象年齢等を拡大して、子どもの医療費助成を実施しており、高校3年生相当年齢まで引き上げる自治体もあります。

無料だからといって安易に受診していると、医療費が増えてしまい、結果的に「健康保険料の引き上げ」や「増税」という形で家計の負担が増えることになってしまいます。

大切な保険料や税金を無駄遣いしないためにも、医療費の節減にご協力をお願いいたします。

緊急時以外は平日・昼間や
土曜午前中に受診しましょう。

かかりつけ医を持ち、
はしご受診をやめましょう。

ジェネリック医薬品を
選びましょう。

子どもの急病時、まずは落ち着いて！ 夜間・休日は「こども医療でんわ相談 #8000」のご利用を！



子どもの急な発熱やけがは、不安な気持ちが先立ち、夜間や休日でも、病院へ連れて行きがち。まずは、落ち着いて、小児救急電話「#8000」などの相談サービスを利用しましょう。子どもの症状を伝えれば、緊急度によって対処法をアドバイスしてくれます。

